

地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース

新院長の就任あいさつ



院長 児島邦明

4月1日付で院長に就任しました児島でございます。初代院長佐藤信紘先生、前院長宮野武先生(名誉院長)の意を継ぎ、順天堂大学練馬病院を練馬区民の皆さまをはじめ、周辺の方々の“心と身体のオアシス”のような病院になるよう、更なる努力をいたす所存です。

当院は、平成17年7月にこの練馬高野台の地に開院し、今年で満6年を迎えます。この間、「安心」、「安全」の医療を提供できるよう、職員一同病院を挙げて努力して参りました。お蔭さまで、これまで多くの患者さんに来院いただき、皆さまの心と身体の健康に貢献できていることを院長として心より嬉しく思います。

順天堂は、建学173年に及ぶ、日本で最も古い西洋医学の病院として長い伝統と歴史を誇ります。当院も順天堂の一員として、学是「仁」、他を思いやり、慈しむ心、また大学附属病院として「不断前進」の理念の下、今後も最新・最善の医療を提供できるよう努めて参ります。

当院が皆さまにとって、心と身体の健康面で何か変だなと思われたら、いつでも『そうだ順天堂に行こう』と思われる病院を目指します。何とぞよろしくお願い申し上げます。



地域の皆さまの
心と身体のオアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

平成23年度初期臨床研修医 23名が4月1日より研修開始します!



平成23年4月より、全国から選抜された初期臨床研修医
23名が、医師としての第一歩をスタートします。
順天堂大学練馬病院では、第三期生となります。



医師にとって患者さんが先生です。地域で、病院で、
患者さんとともに良医を育てていきます。
皆さまには、厳しくも温かい目で
育てていただけますようお願い申し上げます。



臨床研修医が
総合診療・性差科の外来を
担当いたします。

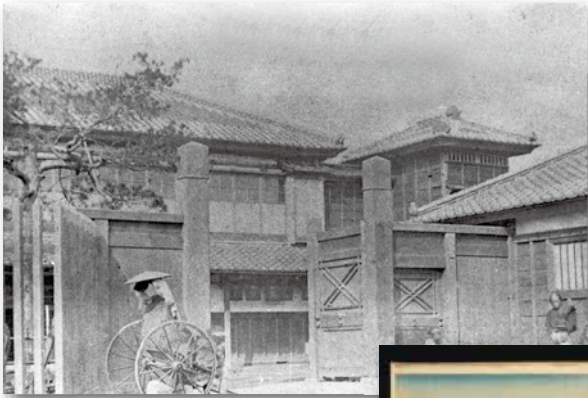


- *臨床研修医の外来診療は指導医の指導のもとに行います。
- *臨床研修医の診察を希望されない方は遠慮なくお申し出ください。
- *臨床研修医教育のためのご寄付を募集いたします。詳しくは総合案内まで。

順天堂醫院の歴史

お茶の水順天堂・誕生物語り

東京の順天堂醫院は、明治6年に下谷練塀町に始まりました。しかし、当時そこは湿地帯で、病人に向かない土地でした。そのため、明治8年、高燥の地お茶の水（約3,000坪）に移りました。その時代、大病院は現在の東京大学医学部附属病院だけでしたが、大名屋敷を使っていました。そこは、大広間はあっても個室がありません。個室のあるのは、宿屋か女郎屋でした。検討の結果、順天堂醫院は女郎屋をモデルにしました。病室には床の間とは違い棚があって、次の間付きでした。病人をゆったりさせるように考えたという話が、伝わっています。



順天堂大学医学部医史学研究室
客員教授 酒井シヅ

「医療費あと払いサービス メディカルクレジットサービス (MCS)」をはじめました。

当院では、外来会計の待ち時間対策として「医療費あと払いサービス(MCS)」をはじめました。

医療費あと払いサービス(MCS)とは？

現在お持ちの当院の診察券を利用して、外来の医療費をまとめて口座から引き落とすサービスです。サービスをご利用になる際は、診察後に会計受付へお申し出ください。



診察終了



診察後、会計受付で「MCS利用」をお申し出ください



会計を待たずに帰宅



処方せんのある方は薬局へ



●○ご利用のポイント○●

- ・医療費は口座からの引き落とし(月末締め、翌月27日お引き落とし)
- ・年会費、月額固定費などは不要
- ・サービスを利用するか否かは、その都度選べます
- ・ご利用しないときは費用は一切かかりません

●○ご利用料金○●

サービス利用料は1回105円(税込)です

※ご利用には事前に登録が必要です。

詳しくは、総合案内・会計窓口においてあるパンフレットをご参照ください。

お問い合わせ: MCSお客様窓口03-3519-5920(平日午前9時~午後5時)

